

そらのいえ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>利用者各人の尊厳とQOLを保ち、ありのままの姿を理解し、受け入れる様に常に心がける。更に地域密着型として、地域に溶け込み地域に役立ち、地域社会から愛され信頼されるグループホームを創るという理念を持ち、毎朝の引継ぎ時に理念を復唱し、日々再認識をしている。</p> <p>更に職員全員が理解できるよう、会議で具体的な事柄で話し合い、職員同士が共有認識し、理念を基軸とした生活支援に努めている。</p>		
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>利用者様の地元のお祭り（坊ほぜどん・津貫太鼓踊り）に見学に行ったり、2年に1度開催される集落の運動会や行事（赤水祭り）に招待いただいた時は、積極的に参加させていただいて顔馴染みの方々と話したりできていたが、コロナ感染拡大防止のため行事も中止になり、利用者様も外出できないので地域とつながるのが難しかった。</p> <p>しかし、感染防止対策を取ったうえで近くの理容店から散髪に来てもらったりするなどして、地域に溶け込むように心がけている。</p> <p>また、栗野地域の耕作物を売る朝市「あぐりっしゅ村」があるので、地域で採れた物を利用者様へ提供している。更に、購入に行くことで地域の方々と話す機会となり、地域の方々からも声をかけてもらったりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている</p>	<p>地域に入り皆さんに利用者様と会っていただくのが最も早く認知症への理解につながるのではと考え、積極的に集落の行事に参加し、地域の方々と話ができるような機会を持てるように努め、また、キャラバンメイトとして活動している職員を中心に毎月第一水曜日に認知症カフェを開き認知症の悩みや相談ができる場所づくりを行っていたが、コロナ感染拡大防止のため、難しい状況だった。</p> <p>しかし、認知症について問題を抱えるご家族が相談できるよう、随時電話相談を受け付けている。また、認知症サポーター養成講座などの派遣依頼を受けたりもしている。</p>		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では、利用者様状況と行事の報告と予定について説明し、意見をいただいている。会議の内容については、翌朝の職員の引継ぎ時やユニット会議で報告し、前向きに取り組み、利用者様の支援、健康管理、グループホーム運営の向上に努めている。</p>		
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>市（加世田本所）とは、サービス事業所更新申請関係や変更申請等、また、生活保護受給者についての連絡や確認を行ったりして連携を取らせていただいている。</p> <p>支所（坊津）では、介護認定更新、健康保険証の更新等で訪問させていただいている。加えて、運営推進会議に支所職員の方も参加されている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束禁止規定と高齢者虐待の関係より、具体的な行為を会議において学び、禁止行為等を確認して基本的に拘束しないケアを行っている。</p> <p>平成30年5月より、身体拘束等適正化対策委員会を運営推進会議と合わせて開催している。</p> <p>日中、玄関の施錠をすることはない。ただし、安全確保の面から利用者様の行動をみて玄関の感熱センサースイッチを入れることがある。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ユニット会議で高齢者虐待防止法について話し、関連法に関しても資料を基に学んでいる。また、新聞やニュースを具体的な事例としたり、虐待の芽チェックリストを実施し、無意識な行動を意識することで職員が個々の言動を振り返り、見直しをして虐待防止に努め、ホームの理念遂行へとつなげている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>そらのいえでは成年後見制度を利用されている利用者様はいらっしゃらないが、今年度からうみのいえユニットで利用される利用者様がいらっしゃるので、それを機に再度ユニット会議で資料を基に研修を行った。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前（入居前）に重要事項を分かりやすいように説明させて頂き、疑問点や不明な点がないかをお聞きし、不安がないように努め、納得して頂いてから契約締結へと進めている。</p> <p>重要事項に記載のない新たな加算等については、文書説明と同意（介護給付費の改定は除く）を得て、改定を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者様の多くは、日常の要望を言われている。可能な部分はお聞きし検討をしている。緊急性のあるものは即時対応している。</p> <p>表現の仕方がうまくできない方については、包括的に推察、または勘察し対応させて頂いている。</p> <p>また、ご家族においては利用料支払いの来所時にご意見・ご希望をお聞きし、運営に反映させて頂いている。</p> <p>運営推進会議に家族代表の参加もあり、意見をいただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>管理者、マネージャーは、ユニット会議に必ず参加し、職員からの話を聞く場としている。この会議には職員全員が集まるので、多数の意見が聞け、職員間でもそれらの内容を反芻し、理解することができる。</p> <p>管理者、マネージャーと職員の相対的な方向性の確認にもなり、グループホーム運営の方向付けがなされている。</p> <p>代表者には、管理者・マネージャーより職員の意見も含め報告している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表は、管理者や主任から職員の勤務状況について報告を受けたり、施設で直接職員から話を聞いたりしている。加えて、自己評価シートを基に面談をし、職員の努力状況を確認している。業務だけでなく、職員の心配事にも耳を傾け、働く意欲の妨げとなる問題にも対処している。また、職員が資格を取るために必要な講習会や、希望する研修会に参加できるよう協力・助成をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>グループホームさつま坊津職員研修計画があり、新任者に対する同行研修を行っている。また、職員個々の経験に合わせ外部研修への参加を促し、市やグループホーム連絡協議会等の貴重な研修に積極的に参加を勧めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>開設時から他のグループホームとの交流を行ってきたが、コロナ禍により他施設交流をすることができなかつた。しかし、同一法人の職員間で交流を持ち、自施設のサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービスの利用を開始させる前に、早いタイミングでご本人やご家族にお会いし、不安に思っていることや困っていること等、支援が必要とされることについて聞き取りをさせて頂いている。そして、不安を和らげる方向への検討をし、加えて利用者様の本来の性格・病気の症状をできるだけ理解するように努め、良い関係を構築するようにしている。入院中であれば、病院に伺っている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>サービスを利用する前から対象者の中核症状・周辺症状による生活への影響やご家族の苦労や心配事をお聞きして、本人様・ご家族様の状態の共有に努め、信頼関係づくりの構築を図っている。そして、要望等をお聞きして同じ方向に向かうように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用を開始する段階で必要と考えられる専門科病院の受診をされていない方には受診を勧めたり、入院または通院継続されていた利用者様に対しては、必要であれば継続利用の話をしたりしている。</p> <p>病院とも連携を取り、見解が異ならないように疎通を図り、「その時」必要な支援の見極めに努め、ご本人・ご家族が安心して納得できるように対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の心の向き（態度）を察知し、それに沿った援助を行う。 生きる場として楽しい共同生活が送れるよう、芋ほり、蕎麦打ち、餅つきや利用者様が覚えている昔のこと、季節折々の行事の他、話などで主役になっていただき、身に刻まれた能力を発揮していただく。 施設のお仕着せにならないように、一緒に過去に思いを馳せ回想しながら共に共同生活をしていただいている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ禍で面会に制限を設ける等してきたが、なかなか来所されないご家族には季節の変わり目に連絡を取り、衣替えのため来所していただいている。 ご家族が来所された際に、利用者様の病気の症状や状況等、ホームでの生活状況を職員が伝え、ご家族に理解し、支えていただくようにしている。 また、リモート面会を取り入れ、遠方のご家族とも話せる機会を設けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナウイルス感染防止対策のため地域の行事も軒並み中止となり、また利用者様も外出できない状況のため毎年見学させていただいていた坊ほぜどんや津貫の太鼓祭りに行けず、馴染みの場所や人との関係を保つことが難しかった。しかし、制限付き面会やリモート面会を実施し、ご家族との関わりの中で関係を保てるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>職員は、利用者同士の関係を把握し、落ち着いて食事が摂れるよう席を決めたりしている。</p> <p>居間では、利用者様の音頭で合唱が始まるが、孤立する利用者様がないように、そばで支援させて頂いている。</p> <p>利用者様同士の支え合いとしては、食後の服薬時にコップを片付けようとする利用者様に「あんた、お薬まだじゃないの」と声をかけられたり、入院されている利用者様のことを心配され「元気け？」などとスタッフに聞かれる様子も見られる。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>ホームを退去（契約解除）される場合、主に老人福祉施設への入所か病院への長期入院（療養型）となる。</p> <p>老人福祉施設の場合、訪問し、職員に様子を聞いたりするなどして関係を続けるようにしている。また、病院入院の場合は、看護師やMSWから病状などについて説明を受けたっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃から職員より声掛けをし、意向や希望を伺い、利用者様が安心して落ち着かれる様に努めている。把握が困難な場合でも入居前に人生表にて生活歴や趣味、性格、環境などについてご家族や身内の方、またはMSWにお聞きし、思考や情動が生じる背景を少しでも理解できるように努め、また情報を集め、何を希望されているか把握する様に努力している。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に生活歴・趣味などについてご本人・ご家族等から情報を収集している。 入院中の場合は、病院まで行き直接話を伺い、その人の生活歴等を把握するようにしている。 また在宅の方は、訪問し生活環境を見させていただきながら話を伺い、総合的にその方の生活歴、暮らしなどの把握に努めるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	現状の暮らしにおいて能力の把握をするために収集された情報を基に記録や前日の日勤職員から情報を聞き、利用者様の心身状態や病状進行等の変化を把握するように努めている。 担当者会議等で職員の共通理解を図り、一人ひとり活かせる能力を鑑みた支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>利用者様がどの様なことを望まれるのかお聞きし、ご家族からも問題となっている点を尋ね、ニーズを考え優先度を決める。</p> <p>担当者会議にて利用者様の残存能力、分かること・分からないことの状態を職員間で検討し、ズレが生じないようにし、ケアの統一を図る。また、MSWや主治医に相談し、その結果を具体的に介護計画に反映させる。</p> <p>現状に則するためにモニタリングを行い、課題と対応について再確認・検討をし、見直しが必要と考えられるときはサービス担当者会議で関係職員等との話し合いをし、介護計画書を調整する。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子や介護状況については、個人の介護支援経過記録に毎日記録している。また、特記的な事柄は連絡事項記入簿に記入し、それを他の職員が確認したらサインするようにし、情報の共有化が確実なものになるようにしている。</p> <p>訪問診療や通院時の記録は受診記録帳に記し、各職員に医師の声や利用者様の状態、治療方法等について伝わるようにしている。</p> <p>現状では、毎朝の引継ぎミーティングの時に状況確認をしている。支援状況から介護計画を見直し・検討を行い、実情に則したものにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご家族が病院への受診送迎が出来ない時は、ホームが病院受診にお連れしている。そして、利用者様の体調の変化がある時などはご家族に随時連絡を取り、経過をお伝えしている。</p> <p>理容も2カ所から交互に来ていただいている。また、「〇〇を買って来て欲しい」と訴えられる方もいらっしゃるので、ご本人の希望を職員が把握し、購入している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>在宅の時はご家族や近所の方の支えで生活を送られ、暮らしの中では、病院に行ったり理容室に行ったりと地域の方々との関係を持たれていた。その関係を断ち切ることなく継続していただくよう、皆さんがホームに来やすいような雰囲気作り、対応に努めている。新型コロナウイルス感染症が収束した後は集落の行事に参加し、地域資源の活用へとつないでいきたい。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>基本的には、ご本人・ご家族の希望される病院を利用させていただいているが、遠距離の病院を利用されている方には緊急時の対応も考慮して、ご本人・ご家族に納得していただき、地域の協力病院に変更させていただいている。</p> <p>また、新たに他科の病院受診が必要な場合は、ご本人・ご家族の了解を得て受診し、適切な治療を受けて頂いている。</p> <p>緊急時を考え、整形外科や外科などの希望についてもお聞きしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職員は、利用者様の体調変化や情動の変化に気づいた時、管理者・看護師（正・准）に状況を速やかに伝え、病院受診の必要性があるか等相談し、利用者様の苦痛の軽減や不安の解消に努めている。</p> <p>状況によって特に緊急と考えられるときは、看護師から病院への連絡と迅速な病院への搬送につなげている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時は利用者様が安心できるように、ほぼ2～3日毎に病室を訪問していたが、コロナ禍で病院では面会規制があるために面会が出来なかった。しかし、病院側の要請で情報提供書を提出している。</p> <p>面会はできないが、電話等で看護師や主治医から治癒・療養状況をお聞きし、利用者様の状況がつかめるようにしている。</p> <p>管理者は状況把握に加え、看護師や主治医に対象者の早期退院（方向性）に向けた話をさせて頂いている。また、病院では、病院職員と情報交換をし、MSWとは、当ホームの利用者様が入院していない時でも電話で連絡を取っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居前の利用契約時に際し、病状が重度化した場合の方針についてご本人やご家族にホームで支援できることを説明し、ご希望なり意思表示を聞き、ここで方針の共有と相互理解を図っている。できるだけホームで生活していただけるよう、施設方針を説明している。</p> <p>また、病院と連携を取り、主治医と状態を相談しながら介護老人保健施設の紹介や入所申請の説明も行っている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年2回、定期的に避難訓練をしているが、そのうち1回は夜間想定で行っている。</p> <p>避難訓練終了後に消防署員の指導講話で毎回内容を変えていただき、誤嚥時の対応、応急手当や移動方法などの講話をして頂いている。しかし、今年はコロナ感染防止対策のため消防署員の方に依頼が出来なかった。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、昼と夜間想定での避難訓練を行い、通報・避難・消火の項目で全職員が対応できるように訓練している。</p> <p>また、災害時に対応すべく非常食・飲料水を常備し、期限等の管理をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>人生の先人であり、その方の誇りやプライドを傷つけないように対応している。尊重するためには、個人の状態を理解することが必要であると考え。併せて、今までの生活環境と社会的な背景も考慮した支援を行うことが重要と考え、情報収集に努めている。</p> <p>言葉かけについて、具体的にはやさしい言葉で話しかけ、大きな声で背後から話しかけないようにしている。</p> <p>日常の中でのあいさつや、「ありがとうございます」といったお礼の言葉など、普通に一人ひとりの人間として会話している。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>起床時に声掛けし、自ら服を選んでもらったり、入浴の判断をして頂いたりするなどして自己決定の場を作るようにしている。ただし、清潔の保持と健康上から自己決定に反する場合もある。</p> <p>ほとんどの利用者様は、思いや希望を職員に話されているが、疎通の難しい方は1対1でゆっくりと声をかけて自己決定の支援をさせて頂いている。</p> <p>さらに、食事で食べたいものなどをお聞きし、提供するなどしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本とする1日の流れはあるが、一人ひとりのペース、生活意識を大切にするのがグループホームの特徴である。施設の都合を押し付けることはなく、施設行事では利用者様の健康状態からも判断するが、本人の意向を尊重し、参加を希望しない方を無理に参加させることはしない。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>ファッションにこだわる方が多く、洋服を選んでお洒落をされる方もいらっしゃる。また、理容師が来所したときに散髪をされる中で、髪の長さの希望を伝える方もいらっしゃる。</p> <p>主役となる敬老会では、お洒落をして口紅を付けられることもある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>あまり好きでないものは調理方法で工夫して食べて頂いたり、食べたいものをお聞きし、提供させていただいたりしている。そして、季節の変化を知っていただくよう、旬の食材を使用したり、行事食でも楽しんで頂いている。</p> <p>さらに、施設の畑でサツマイモを栽培・収穫し、それを召し上がって頂いている。</p> <p>誕生日会では、対象者の好きなものをメインにしてお祝いしている。</p> <p>また、食材の準備としてツワの皮むきや豆をさやから取る作業をしていただいたり、食後には食器の片づけなどもできる範囲でしていただいている。</p>		
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>病状の状態に合わせてご飯量・副食量・水分量に注意し提供させていただいている。</p> <p>また、ミキサー食・軟飯・一口大カット・刻み食など利用者様の状態に合わせて提供させていただいている。</p> <p>水分に関しては、飲水量を確認し、少ない方には声掛けをして飲んでいただいている。</p> <p>また、毎朝牛乳を飲んでいただいている。牛乳が嫌いな方には野菜ジュースや果物のジュースを飲んでいただいている。ヤクルトを飲まれる方もいらっしゃる。</p> <p>そして、週に1回パン食の日を設定したりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者様個人の状態に合わせ、声かけ見守り・歯磨き介助・義歯のブラッシング・うがいの支援をしている。 夜間は義歯をお預かりして酵素入り入歯洗浄剤に浸け、消毒している。 また、治療が必要な時には協力歯科医院に連絡をして受診している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の時間記録を取り、排泄パターンを見ている。そして、気持ち良い排泄に向けて昼夜、個人の排泄パターンから声掛けや手引き誘導などトイレで排泄されるよう支援をしている。ただし、尿意がなかったり、排尿が頻回な方にはパットや紙パンツを利用していただいている。 下肢筋力の低下やふらつきのある方は、夜間のみポータブルトイレを使用していただいている。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄調整を考え、毎朝牛乳を飲んでいただいている。排便が長くない方には、乳製品や食物繊維の多い芋類を提供したり、運動のできる方は、廊下で歩行していただいたりしている。 誤嚥予防に食前の嚥下体操や発声訓練をしたり、歌を歌ったりしている。加えて、水分摂取量に注意して服薬時にも水を摂っていただいている。それでも排便コントロールがうまくできない方は、主治医に相談し、服薬でのコントロールを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的には週2回程度の入浴を考えているが、本人の意思を尊重している。しかし、バイタルや心身の状態を考慮して入浴の判断をしている。 入浴の時間も利用者様の望まれる時間に入っていただくようにし、温度も好みに近づけて調整している。当然、見守りをし安全を図っている。		
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居間で話をお聞きしたり、テレビを見たりして落ち着き、眠くなられたところで就寝の誘導をさせて頂いている。その時の個々の状況により、就寝される時間は強制していない。ふらつき転倒のないよう、休息が少しでもとれるよう、眠られるまで見守りをしている。 不眠等の状況によっては、医師に相談し、医療面から安眠の支援をさせて頂いている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者の病気、認知症・不眠・情緒不安定・高血圧などに対する薬を理解し、症状の変化に注意している。特に処方箋に変更がある場合、バイタルの変化や情動的な面でも注意し、変化が認められた場合は病院と連携し早急な対応をしている。 薬の情報はファイリングして職員が閲覧できるようにしている。受診記録は必読である。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>日常生活の中で何らかの役割・仕事を持っていただき、利用者様自身の存在を感じて頂くよう支援している。</p> <p>例えば、洗濯物たたみ、ランチョンマット拭きなどの日常の動きの中だけでなく、歌や踊り、あるいはカレンダーの色塗りなど趣味を楽しめるように生活の中でアクセントをつけ、気分転換を図っていただいている。</p> <p>特別なことではなく、利用者様同士が楽しく談笑されることも有用と考える。</p> <p>施設の行事で出かけることも多かったが、コロナウイルス感染拡大防止のため行えていない。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>新型コロナウイルス感染防止対策のため、外出することができなかった。</p> <p>そのため、季節の花を飾ったりして外出した気分を少しでも味わっていただけるよう、工夫した。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居前にお金を持つことで安心される方には、高額にならないようご家族に説明し、少額を持っていただくようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族が訪問されることが多く、手紙を書く必要性を感じられないのか、手紙やハガキを出される利用者様はいらっしゃらない。</p> <p>電話は家族からかかってきた時に出られたり、携帯電話を持っておられる方はご自身で連絡を取られたりしている。</p> <p>また、コロナ禍でオンライン面会を始めたことにより、遠方のご家族が利用され、顔を見ながら会話ができるので、利用者様も喜んでおられる。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の場である居間には、季節ごとの花を飾り付けたりして季節を味わって頂いている。また、ソファを居間に置き、リラックスしてテレビを観たり、利用者様同士で談笑したりする場となっている。</p> <p>食堂では、食事だけでなくお茶の時間に皆さん一緒に歌を歌われたりされている。</p> <p>住環境的には、騒音もなく、建物内の天窓から光が入り、明るくなっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居間にはソファを配置し、ひとりでテレビを観たり、気の合った利用者様同士で座り会話を楽しまれたりされている。</p> <p>食堂では、基本手金はその方の能力から席を決めるが、楽しく食事ができるように利用者様同士の相性を考え、席を決定している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご主人やご家族、孫やひ孫の写真をご家族が持ってこられ、部屋に飾ったり、使い慣れた家具や小物を持ってきていただいて居室におき、気分が落ち着くよう配慮している。また、ご本人が作られたものも飾っている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室内、廊下、トイレや浴槽入り口はバリアフリーで車いすの方も移動による障害は少ない。自力歩行の方には、歩行補助として廊下、食堂回り、トイレや浴室に手すりを設置し、ふらつき時の転倒防止につなげている。また、各居室に洗面台を設置し、独立性を高めている。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない